

オープニングを飾る各大学のダンス部員たち。刈谷市の愛知教育大で



## ユニークなダンス 県内大学生ら次々

愛教大で発表会

愛知、静岡両県の大学ダンス部員が日頃の成果を披露する「東海学生ダンス発表会」（中日新聞社後援）が十日、刈谷市の愛知教育大で開かれた。

愛教大、岡崎女子大・短大、至学館大、静岡大、中京大、豊橋創造大の各ダンス部でつくる東海学生舞踊連盟が主催し九回目。計八十人が、コンテンポラリーダンスやリズムダンス、バレエといった要素を取り入れた創作ダンス十二作品を披露した。

オープニングを飾ったのは、各大学合同の十四人。跳躍やターンといった動きをあえてそろえ過ぎずに、発表会のテーマ「CUBE（ダンスで彩る多面体）」を表現した。

部ごとの発表では、人間の子どもに翻弄されるアリの集団を表現したり、「走る」をテーマに、運動会の定番クラシック曲「クシコス・ポスト」に合わせて徒競走の様子を模したりと、ユニークな表現が続いた。